

# 楽じゃないけど 楽しい道を

## Health is wealth.

「健康は、財産だ」

2学期が始まりました。まだまだ厳しい暑さが続きますね。感染防止対策に最大限気を付けながら、充実した毎日にするためにも、何事にも全力で取り組んでほしいと思います。まずは学習、授業に集中して家庭学習にも計画的に取り組みましょう。自分の進路についてしっかりと自分で考え、悩み、保護者の方と相談して、行動しましょう。各校の説明会や相談会には積極的に参加しましょう。直接行くことは難しい場合も、オンラインでの説明会や相談会を準備していただいている学校がたくさんあります。また、申し込んだものも、この社会情勢の中で変更されることがたくさんあります。登録したアドレスへの連絡や、各校のHPを事前にチェックするようにしてください。

### ☆「第2回進路希望調査」☆ \*提出締切：8月31日（火）

始業式の日（8月25日）に進路希望調査を配布しました。今回の調査では、7月の三者懇談会、夏休み中の学習、オープンキャンパス、部活動体験などを経験したみなさんが、今までよりもっと深く自分をみつめ、より具体的に進路展望を固めていくことを目標としています。実際に書く高校名は前と変わっていても、前回から今までにいろいろと考えたはずです。保護者の方とも何度か話したことでしょう。そういうことが反映される調査にしてほしいと思います。また、第1回と全く違う進路先を書く人もいるかもしれません。書かれた用紙を見た担任の先生が「なるほど、良く考えてるなあ。」とか「あれ、なんでかな？本人に聞いてみよう。」とか、気を配りながらチェックされます。担任の先生ともよく相談して下さい。大事なことは「しっかり考える」ということです。「ようわからんし、とりあえず何か書いどこ」では済まない時期になってきています。具体的に、現実的に、良く考えて書きましょう。そのあと、自分が書いた学校の中で、まだ行っていない学校があるのなら一度行ってみましょう。

提出は来週の火曜日ですので、土日は明日明後日の1回しかありません。おうちの方とこの土日に話をする時間をじっくりとって、絶対遅れることがないように提出して下さい。

NO.5～8で公立高校の特集をしました。本号では私立高校、専修学校・各種学校について記載しています。

### <私立高校について>

私立高校は、各校の建学の精神に基づく校風づくりをめざしています。宗教的色彩を取り入れた情操教育を行い、独自の特色を生かした校風をかがけて教育を行っている学校がほとんどです。学科やコース、部活動、就職、進学率等に、各学校が工夫を凝らし、しのぎを削っているのが現状です。そのような事がらをよく調べてから選択することが必要です。私立高校を受験するという事は、その高校を希望して受験するという事なので、単独選抜により合否が決定します（第2、3希望の学科、コースに合格するという場合もあります）。

私立高校を選択するには、次のような点を確認しておきましょう。

①建学の精神、②独自の校風（中高一貫教育、短大、大学との連携など）、③教育内容（科・コース・多彩な内容の教育課程、クラブ活動での実績など）、④共学校または男子校、女子校か⑤生活指導はどうか（しつけ、服装規律など）⑥独自の入試制度（専願者の優遇措置は？推薦制度は？併願の取り扱いは？）⑦卒業生の進路（大学・短大・就職先）

私立高校にはいろいろな学科があり、その学科の中に多彩なコースを細分化するところが増えてきました。学

科、コースの選択は、将来の進路を決める上で重大な意味をもっています。各科の内容をよく調べ、自分の適性や将来の進路をよく考えて慎重に決めることが大切です。

また、私立高校と公立高校との大きな違いは学費の面です。学費は各学校によって多少の違いはありますが、入学金、施設費などは平均的に10～15万円程度で、授業料は月々4～5万円程度、その他の諸経費（生徒会費・PTA会費・教科書・参考書代、制服代、修学旅行積立金等）を入れると初年度は年間80万円～100万円超の負担になります。2年目からは授業料や雑費だけになる学校がほとんどです。授業料については、平成22年度より国の就学支援金制度や府のあんしん修学支援事業によって、所得の状況により軽減が図られるようになりました。ただし、現中学3年生が対象となる令和3年度については同様の事業が継続されるかどうかは未定です。交通機関（市バス・地下鉄・私鉄・JR、スクールバスなど）や通学時間・運賃なども知っておきましょう。また、高校ごとに学業奨学金・スポーツ奨学金等の援助制度もあります。経費の面については、保護者の方と十分相談して下さい。

公立高校の場合と同様に、私立高校にも定時制課程（綾羽高校：滋賀県など）や通信制課程（京都つくば開成高校、京都美山高等学校、京都芸術大学附属高等学校、クラーク記念国際高校、KTCおおぞら高等学院等、N高等学校など）の高校があり、それぞれ特色ある学科・コースが設置されています。

●私立高校受験の際の留意点…受験の仕方として専願・推薦と併願（一般）の2つがあります。

#### ・専願・推薦

専願とは、「合格すれば必ずその高校に行きます」という約束で受験することで、不合格のときは公立高校や他の私立高校を受験することはできません。また、私立高校によっては、推薦という制度を設けている学校もあります。推薦というのは、高校側が一定の基準を設けていて、その基準を満たし、中学校も認める人物像であれば、中学校長が推薦します。推薦の基準は学校によって異なります。推薦はその学校を特に希望して受験するのですから、試験科目を少なくするなど配慮される場合もありますが、すべての受験者が合格するわけではなく、試験でも一定の合格基準点を取らなければなりません。

#### ・併願（一般）

併願（一般）とは、「その高校も受験するが、他の高校も受験します」という受験のしかたです。併願でよくあるのは、私立高校も受けて、公立高校も受けるという併願です。この場合、私立高校が合格しても、その私立高校へは必ずしも入学しなくてもかまいません（公立高校に合格した場合は必ず入学しなければなりません）。また、他の私立高校とは入試日が異なっていて、私立高校を2校受験できる場合があります。両方の私立高校とも併願で受験する場合は、希望の順番はどうなのか、担任の先生にしっかり意思表示をしておいてください（合格発表後の手続きが関係してきます）。

\*私立高校の考査は、京都・大阪では、例年2月10日頃に統一して実施されます。試験科目は5教科（国語・社会・数学・理科・英語）や3教科、または受験生の選択で実施されるところが多いです。面接試験はほとんどの学校で行われます。服装・頭髮・爪などの身だしなみや言葉遣いなど、また、しっかりした受け答え、明確な意志を持って受験しているかなどを見られます。

## <専修学校・各種学校について>

各種学校とは、仕事や趣味、教養として必要な知識や技能などを習得するための目的を持って設置された学校の総称ですが、その中で、一定の基準を満たした教育機関として専修学校が設置されています。専修学校には高等課程（中卒以上を対象：高等専修学校ともいいます）、専門課程（高卒以上を対象：専門学校ともいいます）、一般課程（入学条件なし）の3つの課程があります。高等課程を修了すると、就職の際に高卒と同等と見なされます。また、専修学校の中には通信制高等学校と連携していて、卒業すると高校卒業資格も取得できる学校もあります。私立高校より学費が高いところもあるので、保護者の方とよく相談してください。